

2022年 市場概況等について

2022年12月30日

証券会員制法人 福岡証券取引所

1. 概況

(1) 2022年1月4日大発会の日経平均株価は、29,301円79銭(終値)と昨年末から反発して始まると、翌5日には29,332円と年初来高値をつけた。その後は、米長期金利の上昇を背景とした米株式市場の下落やロシアウクライナ情勢などから3月9日に24,717円(年初来安値)まで下落したものの、参院選で自民党が改選議席の過半数を単独で確保したことで政権が安定するとの期待感が強まったこともあり、8月17日には29,222円と29,000円の節目を超え、1月5日以来およそ7か月ぶりの高値を回復した。12月に入り、米・欧の金融引き締めも相まって世界的な景気後退が警戒されたことや日銀が大規模緩和の修正を決めたことを受け、15日から21日にかけて大幅に続落するなど、26,000円台にまで再び下落し、なかなか方向感の定まらない年であった。12月30日大納会の日経平均の終値は26,094円50銭(前年末比-2,697円21銭)。

(2) 福証の2022年の売買代金動向をみると、昨年同様、低調に推移した。内訳をみると、5月は立会外分売があり、10月は東証重複上場を好感した買いと、その関連銘柄として同業種の買いが増加して両月とも前年同月を上回った一方、他の月については、福証単独上場銘柄の東証重複上場に伴う減や昨年売買代金が高水準であった複数銘柄の反動減などにより、前年同月を下回って推移した。

この結果、2022年の売買代金は前年比15.8%減の112.7億円となった。

2. 売買状況 (単位未満四捨五入)

① 売買高・売買代金

		2021年	2022年	前年比
売 買 高		14,219千株	12,970千株	-8.8%
一日平均売買高		58千株	53千株	-8.4%
売 買 代 金		13,382百万円	11,269百万円	-15.8%
一日平均売買代金		55百万円	46百万円	-15.4%
売買高	最高	379千株 (11月17日)	238千株 (09月22日)	
	最低	19千株 (05月28日)	18千株 (08月08日)	
売買代金	最高	715百万円 (09月13日)	199百万円 (09月22日)	
	最低	17百万円 (06月23日)	16百万円 (07月06日)	
立会日数		245日	244日	

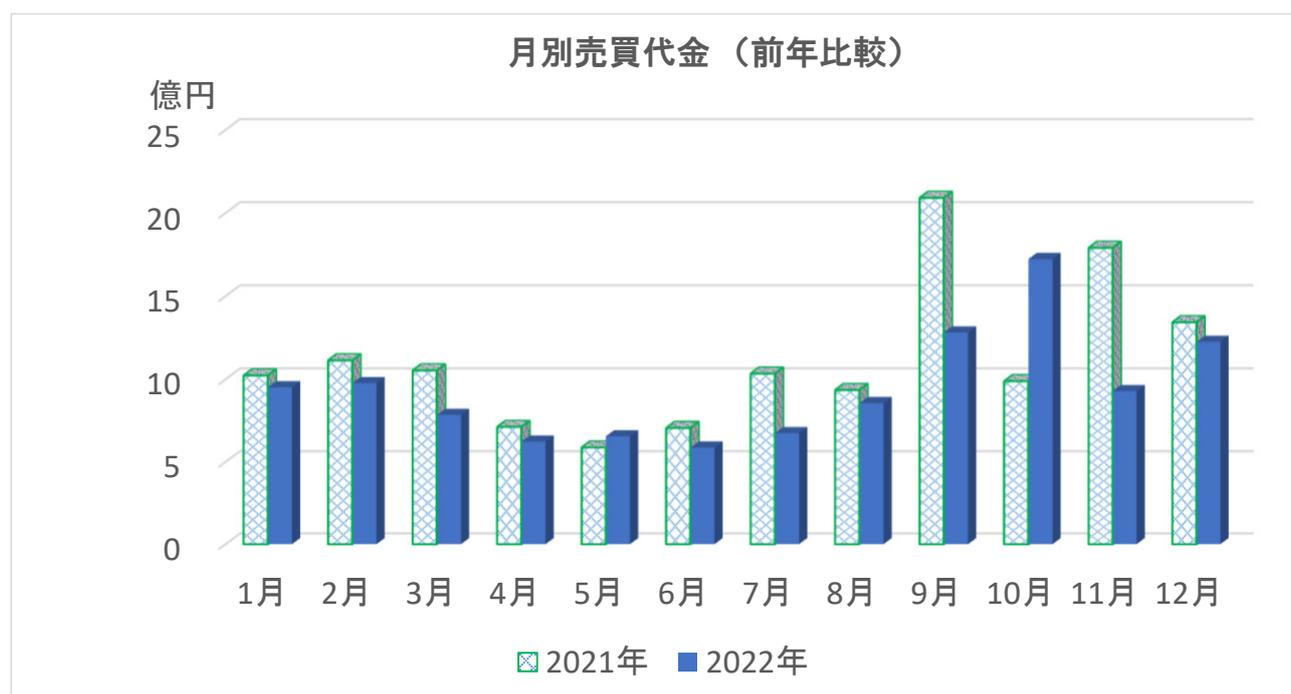
(注) 売買高・売買代金には、REITの取引成立分を除く(以下同じ)。

② 市場別内訳

	売買高 (千株)			売買代金 (百万円)		
	2021年	2022年	前年比	2021年	2022年	前年比
合 計	14,219	12,970	-8.8%	13,382	11,269	-15.8%
うち本 則	8,912	7,597	-14.7%	8,471	7,322	-13.6%
うちQ-Board	5,307	5,373	+1.2%	4,911	3,947	-19.6%

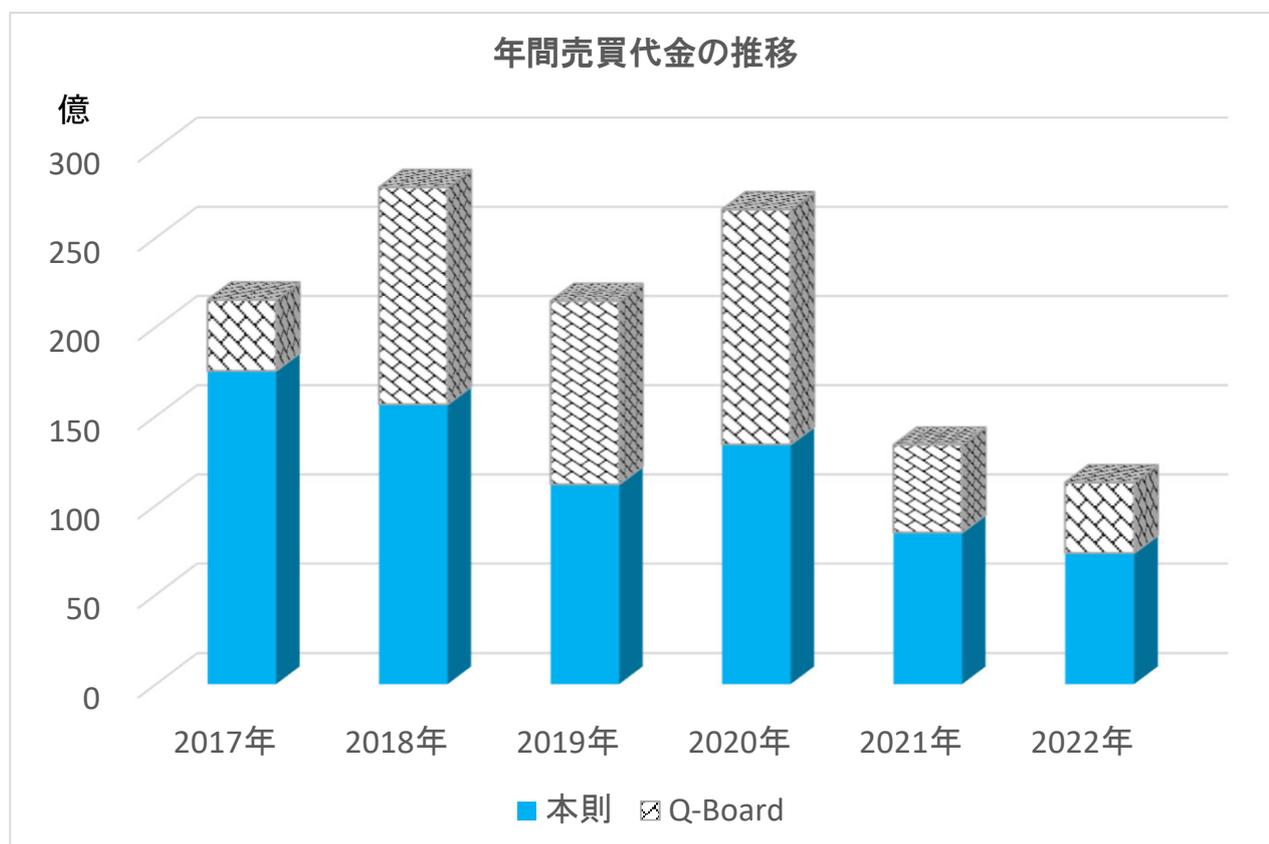
③月次売買代金の推移

月	売買代金（百万円）		前年同月比
	2021年	2022年	
1月	1,023	952	-7.0%
2月	1,114	976	-12.4%
3月	1,053	785	-25.4%
4月	713	623	-12.6%
5月	588	656	+11.5%
6月	706	587	-16.9%
7月	1,034	674	-34.8%
8月	936	857	-8.5%
9月	2,092	1,282	-38.7%
10月	989	1,723	+74.2%
11月	1,791	929	-48.1%
12月	1,343	1,225	-8.8%
年間合計	13,382	11,269	-15.8%

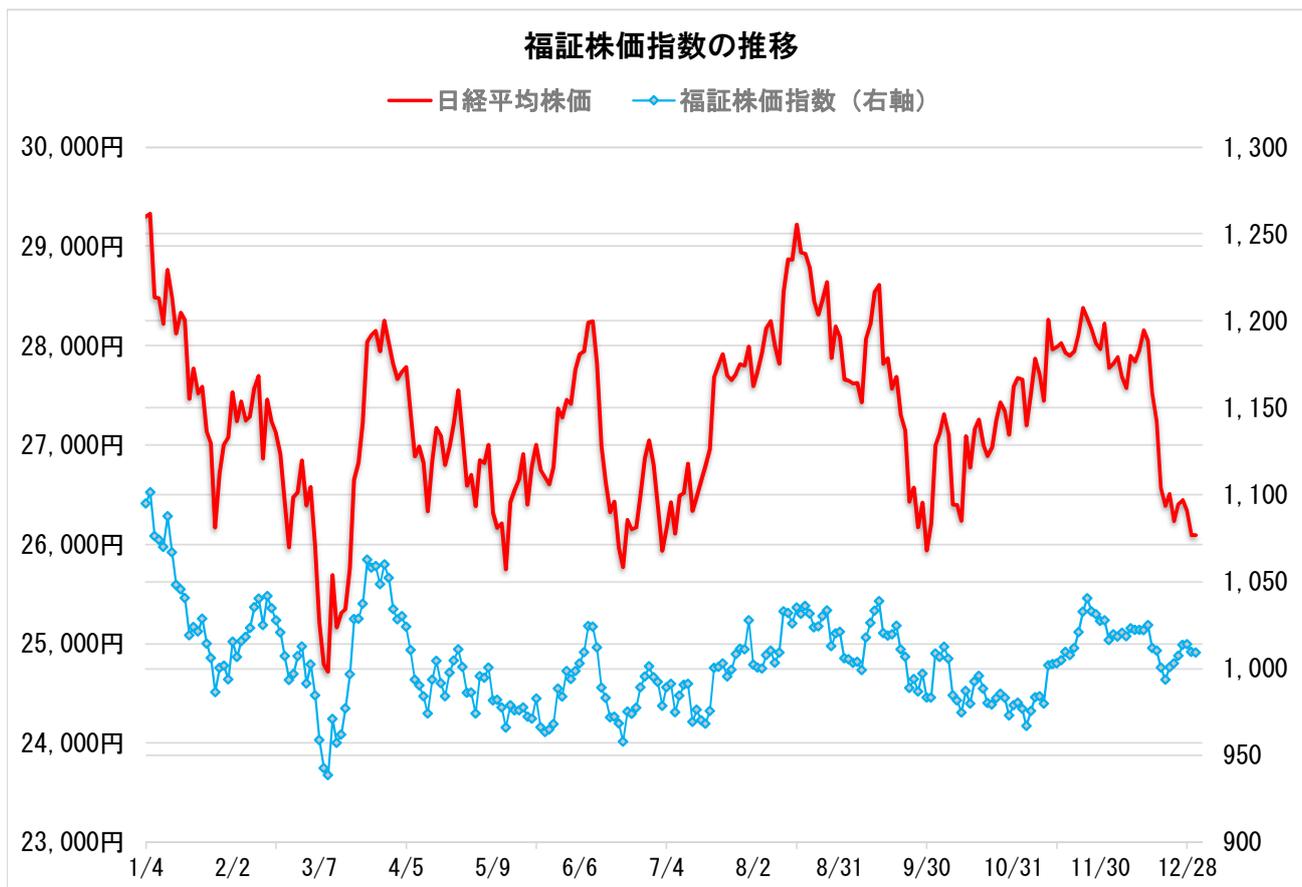


④直近の年間売買高・売買代金推移

年数	売買高（千株）			売買代金（百万円）			立会日数
	市場合計	本則	Q-Board	市場合計	本則	Q-Board	
2017年	31,988	26,278	5,710	21,511	17,538	3,973	247
2018年	23,780	12,825	10,955	27,821	15,663	12,158	245
2019年	18,961	10,105	8,856	21,444	11,179	10,265	241
2020年	25,266	15,874	9,392	26,580	13,412	13,168	243
2021年	14,219	8,912	5,307	13,382	8,471	4,911	245
2022年	12,970	7,597	5,373	11,269	7,322	3,947	244



3. 株価指数



①各指数の四本値 (日々の終値)

※単位：福証株価指数：ポイント

	始値	高値	(高値日)	安値	(安値日)	終値
福証株価指数	1,094.89	1,101.45	01月05日	938.53	03月09日	1,009.12
日経平均	29,301.79	29,332.16	01月05日	24,717.53	03月09日	26,094.50

②福証株価指数の年末時点の推移

年末時点	終値
2017年	1,361.17
2018年	1,042.51
2019年	1,072.22
2020年	1,065.45
2021年	1,081.43
2022年	1,009.12

(注) 福証株価指数は、福証に上場している企業のうち、九州・山口に本社又は事業所を有する企業85銘柄で構成しており、1968年(昭和43年)1月4日(終値)を基準とし、その時点の時価総額を100としている。

前年末比
-72.31

4. 上場銘柄の状況

①上場銘柄数

		2021年12月末	2022年12月末	増減数
上場会社数		108 社	107 社	-1 社
上場銘柄数	株券	108銘柄	107銘柄	-1 銘柄
	受益証券	1 銘柄	1 銘柄	0 銘柄
	不動産投信	1 銘柄	1 銘柄	0 銘柄
うち単独上場会社数		27 社	24 社	-3 社
(本則市場の単独上場会社数)		20 社	19 社	-1 社
(Q-Boardの単独上場会社数)		7 社	5 社	-2 社

②異動状況

		2021年	2022年
株券	新規上場	5 銘柄	1 銘柄
	上場廃止	4 銘柄	2 銘柄
	重複上場	0 銘柄	3 銘柄
	市場変更	0 銘柄	1 銘柄

2022年 上場銘柄異動状況

異動日	項目	銘柄名	異動理由	会社数
2021年末時点				108
02月25日	重複上場	大石産業(株)	東証に重複上場	108
04月26日	上場廃止	DOWAホールディングス(株)	上場廃止申請	107
09月28日	新規上場	(株)アドバンスクリエイト	本則市場に新規上場 (東証既上場)	108
10月06日	重複上場	(株)ピー・ビーシステムズ	東証に重複上場	108
12月23日	重複上場 市場変更	(株)ハウスフリーダム	東証に重複上場 Q-Boardから本則市場に変更	108
12月25日	上場廃止	(株)I H I	上場廃止申請	107

5. 本所の主な出来事

02月03日 など	<p>福証IRフェア オンラインの開催</p> <p>「IRフェア オンライン」(Webセミナー)を開催。投資家に福証上場会社の投資判断に必要な企業情報を共有していただく機会として、お手持ちの情報端末等を通じて、福証上場会社経営者による生の声を共有していただくもので、2022年は全14回を開催した。</p>
02月28日	<p>福証IPOセミナーの開催～経営者に聞く上場体験談 Q-Boardを有効活用する方法～</p> <p>「TPM・福証Q-Board上場体験談」と題して、(株)Geolocation Technology 代表取締役社長の山本氏と(株)フロンティア 代表取締役社長の山田氏に体験談とともにご講演いただいた。</p>
5月	<p>IPOアンバサダー制度の創設</p> <p>福証上場企業7名の方に、先輩経営者および第三者の視点からIPOアンバサダーとして、上場志向企業経営者に上場や経営に関するアドバイスを行って頂く制度を創設した。2022年は6回延べ5社の上場志向企業の経営者をご利用された。</p>
05月18日	<p>福証IPOセミナーの開催～株式上場 当社の成長ストーリー～</p> <p>福証市場に上場後、東証市場にもステップアップされ更に大きな成長を遂げている地元企業の先輩経営者3名(株)cotta 代表取締役会長の佐藤氏、(株)グランディーズ 代表取締役社長の亀井氏、(株)テノ. ホールディングス 代表取締役社長の池内氏)をお招きし、実際に当事者として上場をどのように考え、準備を進めたのか、また上場して分かったことなど、起業から上場を経て現在に至るまでの成長ストーリーをパネルディスカッションいただいた。</p>
06月03日	<p>九州IPO挑戦隊第14期生入会式の開催</p> <p>(株)南の太陽(鹿児島県肝属郡)、(株)ダイヤモンドブルーイング(熊本市)、(株)アオン(山口市)の3社が入会した。</p>
06月03日	<p>「IPOチャレンジアカデミーオープンセミナー」の開催</p> <p>地方でIPOする意義について、九州IPO挑戦隊向けセミナーをオープン形式で開催した。</p>
09月02日	<p>「福証IPOセミナーin沖縄」の開催</p> <p>沖縄県内の中小企業の経営者の方々に、株式上場が決して絵空事でないことを理解していただくことを目的とし、IPOに向かう企業が増えるきっかけとなるように、内閣府沖縄振興局(局長望月氏)、(株)エムビーエス(代表取締役社長山本氏)をお招きし、スタートアップを促すエコシステムの構築についてや上場体験談についてご講演いただいた。</p>
09月14日	<p>「IPOチャレンジアカデミーオープンセミナー」の開催</p> <p>IPO責任者の着眼と最新動向について、九州IPO挑戦隊向けセミナーをオープン形式で開催した。</p>
09月28日	<p>(株)アドバンスクリエイイトが本則市場へ上場</p> <p>[概要] 本社は大阪市。保険代理店事業(通販、対面販売、ネット完結型保険の販売、他代理店との共同募集)、保険業界のプラットフォームシステムの開発・販売事業、保険選びサイト「保険市場」における広告事業、保険専門の広告運用事業及び再保険受託事業を営む子会社の経営管理を主な事業とする。</p>
11月25日	<p>「天神IPOスクール」の開催～誰でもIPO責任者は目指せる～</p> <p>IPO責任者の人材不足の解消を目的に、IPOコンサル3社(IPO協会轟、(株)ブリングラック、(株)Kアライアンス・ジャパン)による社内人材養成講座を開催し、全面的に協力支援を行った。(全3回予定)</p>
11月28日	<p>「福証IPOセミナー」の開催～資産運用管理会社設立のいろは～</p> <p>会社オーナーやIPO担当者向けに三井住友信託銀行 石井氏に「資産運用管理会社設立のいろは」、コタエル信託 松田氏に「インセンティブプランの最新動向」、三井住友信託銀行 池村氏に「スタートアップ企業の動向」についてご講演いただいた。</p>

福証IRフェアの開催

福証IRフェアは、上場会社の企業情報発信の促進を通じ、投資家に対する企業情報提供を充実することを目的に、2006年から継続して開催している。今年も新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ会場での開催を見送り、「福証IRフェア オンライン」を開催した。

開催日	参加企業
第22回 02月03日	西部ガスホールディングス(株)
第23回 02月09日	昭和鉄工(株)／九州旅客鉄道(株)
第24回 03月16日	メディア総研(株)／(株)エムビーエス
第25回 03月24日	(株)Lib Work／(株)フロンティア
第26回 04月20日	日創プロニティ(株)／ポート(株)
第27回 07月13日	小野建(株)
第28回 08月22日	福岡リート投資法人／イフジ産業(株)
第29回 09月07日	(株)Lib Work
第30回 09月22日	(株)フロンティア／(株)エムビーエス
第31回 09月28日	(株)コーセーアールイー／福岡証券取引所の活動について
第32回 11月30日	メディア総研(株)
第33回 12月01日	西部ガスホールディングス(株)
第34回 12月21日	日創プロニティ(株)／(株)ピー・ビーシステムズ
第35回 12月22日	日本タングステン(株)／福岡リート投資法人